

パブリック・コメントの意見の概要と市の見解

・対象案件 第4次和光市子ども読書活動推進計画（案）

・実施期間 令和5年1月10日（火）～30日（月）

・提出者数 1人

・提出意見数 2件

・市の考え方の区分

◎：意見を反映し案を修正した ○：意見を一部反映し、案を修正した

△：案を修正しなかった □：その他（感想、この案件以外への意見等）

・第4次和光市子ども読書活動推進計画（案）

No.	意見の概要	市の考え方	区分
1	<p>中高生が図書館を利用するためには、アピール重要ですが「自習室として会議室などを開放する」や「文化部の活動拠点としての利用」が考えられると思います。アンケートからも読み取れますが、中高生は時間がなく図書館に来られません。図書館が勉強だけをする場でありませんが、図書館に来なくては中高生が図書館を利用にはつながらないと思います。来てもらえれば、本の展示、例えば教科書に載っている作家の別な作品等を紹介することもできると思います。まずは図書館に来ることを最優先とした取り組みを推進することを希望します。</p>	<p>（3）中学生・高校生へのサービスの充実、取組内容①YA（ヤングアダルト）コーナー等の充実の中に「自習室として会議室を開放することの検討」を追記するとともに、学校関係者などとの連携をさらに深め、さまざまな図書館活動を通して、中学生・高校生への来館のきっかけづくりを進めていきます。</p>	○
2	<p>市内の小中学校では朝読書や読み聞かせなどが実施されていますが、何が読まれていて、感想がどうだったのか？などの情報の収集や活用がなされているように見受けられません。子ども達に多くよまれている本の情報はすでに取り組んでいる施策を工夫すれば集めることができますし、テーマ展示、ブックリストの充実など宝の宝庫であると思います。新しい取り組みを考えることも重要であると思いますが、既に実施している施策について司書教諭、図書館アドバイザーとの意見交換を行い取り組みに反映させていくプロセスを具体的に計画に盛り込むことを要望します。</p>	<p>（2）小学生へのサービスの充実、取組内容④テーマ展示及びブックリストの充実の中に「司書教諭、図書館アドバイザーと連携し、朝読書や読み聞かせの情報収集や活用」を追記します。</p>	○